

特任教授

村上 里絵

■ 学歴

1. 福岡教育大学大学院教育学研究科心理学専攻修士課程

■ 学位

1. 教育学修士

■ 研究分野

1. 子どもの言語発達
2. 応答的保育
3. 子どもの遊び

■ 研究キーワード

1. 応答性
2. 言語的応答性
3. 子どもの遊び

■ 研究課題

1. 子どもの発達理解と遊び
2. 子どもの発達と応答的保育

■ 担当授業科目

1. 保育内容総論
2. 教育実習 I
3. 教育実習 II
4. 保育の計画と評価（教育課程を含む）
5. 子どもの発達理解と遊び
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|--|
| 1. | 授業科目名【保育内容総論】
保育現場に必要な、子どもの関わりと子どもの心に寄り添う考え方について理解できるように、実践 |
|----|--|

	事例を用いてわかりやすく説明する。また、各学生の実習中の事例をグループで出し合い、問題点や課題解決に向けたセッションをし、保育現場で実践できるスキルを身につけられるようにする。
2.	<p>授業科目名【子どもの発達理解と遊び】</p> <p>保育現場における「遊び」と言われる遊びを、実際に行いながら援助のポイントを押さえる。学生自身が「楽しい」と感じる遊びが、実際に子どもと共に行うことが必要だと感じられるようにする。また、遊びの中での発達を視点にした援助の方法についても説明を加える。</p>
3.	<p>授業科目名【教育実習指導】</p> <p>幼稚園実習の後の振り返りを中心に、面談形式で保育の大切さに気付けるようにする。学生自身の自己評価と幼稚園での評価のズレについて、共に検討し、実習で感じた生の体験を大切に、本人の自信に繋がるような面談にするように心がけている。</p>
4.	<p>授業科目名【保育の計画と評価】</p> <p>まず、カリキュラムマネジメントについて丁寧に説明をし、理解を促すようにする。自己評価後に「action=改善」を行うためには、計画が必要であることに気づけるように説明する。また、保育の計画には、長期計画と短期計画があることを伝え、それぞれの具体的内容について理解が深まるようにする。主要な計画については、保育所（園）では「全体的な計画」と言い、幼稚園は「教育課程」と言い、内容も異なることに理解が出来るようにしている。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1985年4月	日本保育学会	
2.	1993年4月	九州心理学会 1999年迄	
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.	なし				
2.					
3.					
（学術論文）					
1.	なし				
2.					
3.					
（翻訳）					
1.	なし				
2.					
3.					

(学会発表)					
1.	なし				
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	なし			
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.	なし			
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2012年4月～2016年3月	北九州市立幼稚園連盟教育研究委員会	
2.	2012年4月～至る現在	北九州市児童福祉施設第三者評価委員	決定部会副会長
3.	2022年4月～至る現在	北九州市立幼稚園連盟経営委員会	

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	なし		
2.			
3.			